

⑤ニ CSV形式データのレコードの内容等

財務諸表をCSV形式データで作成する場合、「① CSV形式データ作成に当たっての留意事項」及び以下の設定規則等に沿って作成すると、当該CSV形式データをe-Taxソフト等で送信する際に、XBRL形式に変換され、帳票イメージを表示することが可能です。

【CSV形式データの設定規則等】

財務諸表のCSV形式データについては、5列（5カラム）で作成する必要があります。
 (データ作成例：貸借対照表、「一般商工業」)

種別又は勘定科目名	内容又は金額等	行区分	階層番号	勘定科目コード
A	BS			
B	サンプル株式会社			
C1	2019-04-01			
C2	2020-03-31			
貸借対照表				
資産の部		T	2	10A000010
流動資産		T	3	10A100010
現金及び預金	1000	1	4	10A100020
受取手形及び売掛金	2000	1	4	10A100030
貸倒引当金	-1000	1	5	10A100040
受取手形及び売掛金(純額)	1000	1	5	10A100050

財務諸表のCSV形式データの作成に当たっては、次の1から5までの各項番の設定規則に沿って作成いただくようお願いします。

項番	項目名	留意事項																							
1	種別又は勘定科目名	<p>「種別又は勘定科目名」は、次の設定規則に沿って、記録願います。</p> <p>【設定規則】</p> <p>(1) 種別の記録</p> <p>1つのCSVファイルに対して、1～4行目は半角文字で「A→B→C1→C2」の順に記録し、5行目には全角文字で「財務諸表名」を記録願います。</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>行数</th> <th>種別又は勘定科目名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>半角</td> <td>A</td> <td>財務諸表種別</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>半角</td> <td>B</td> <td>法人名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>半角</td> <td>C1</td> <td>事業年度(自)</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>半角</td> <td>C2</td> <td>事業年度(至)</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>全角</td> <td>(※財務諸表名から選択)</td> <td>財務諸表名</td> </tr> </tbody> </table>	行数	種別又は勘定科目名	内容	1	半角	A	財務諸表種別	2	半角	B	法人名	3	半角	C1	事業年度(自)	4	半角	C2	事業年度(至)	5	全角	(※財務諸表名から選択)	財務諸表名
行数	種別又は勘定科目名	内容																							
1	半角	A	財務諸表種別																						
2	半角	B	法人名																						
3	半角	C1	事業年度(自)																						
4	半角	C2	事業年度(至)																						
5	全角	(※財務諸表名から選択)	財務諸表名																						

項番	項目名	留意事項																								
		<p>※ 財務諸表名</p> <table border="1" data-bbox="571 248 1366 445"> <tr> <td>貸借対照表</td> <td>株主資本等変動計算書</td> </tr> <tr> <td>損益計算書</td> <td>社員資本等変動計算書</td> </tr> <tr> <td>製造原価報告書</td> <td>損益金の処分表</td> </tr> <tr> <td>個別注記表</td> <td></td> </tr> </table> <p>〔2種類以上の財務諸表を1つのCSVファイルで作成する場合〕</p> <p>2種類以上の財務諸表を1つのCSVファイルで作成する場合、2種類目以降の財務諸表については、「A」（財務諸表種別）を記録した次の行は、「B」、「C1」及び「C2」は記録せず、「財務諸表名」のみを記録願います*。</p> <p>なお、同じ種類の財務諸表については、1つのCSVファイルに1回のみ記録願います。</p> <p>また、「財務諸表名」について、「株主資本等変動計算書」、「社員資本等変動計算書」及び「損益金の処分表」は、1つのCSVファイルにいずれか1つのみを記録願います。</p> <p>※ 作成例につきましては、6頁（参考1）をご確認願います。</p> <p>(2) 勘定科目名の記録</p> <p>使用している勘定科目名を全角及び半角文字で記録願います。</p> <p>なお、空白スペースを使用している場合は、1文字として認識し、「空白スペース」として取り扱います。</p> <p>また、勘定科目名については、文字列を改行することはできません。</p>	貸借対照表	株主資本等変動計算書	損益計算書	社員資本等変動計算書	製造原価報告書	損益金の処分表	個別注記表																	
貸借対照表	株主資本等変動計算書																									
損益計算書	社員資本等変動計算書																									
製造原価報告書	損益金の処分表																									
個別注記表																										
2	内容又は金額等	<p>「内容又は金額等」は、次の設定規則に沿って、記録願います。なお、「内容」については、次の入力基準に沿って記録願います。</p> <p>【入力基準】</p> <table border="1" data-bbox="512 1453 1310 1760"> <thead> <tr> <th>行数</th> <th>種別又は勘定科目名</th> <th colspan="2">内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>A</td> <td>半角</td> <td>財務諸表種別</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>B</td> <td>全角</td> <td>法人名</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>C1</td> <td>半角</td> <td>事業年度（自）</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>C2</td> <td>半角</td> <td>事業年度（至）</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>（※財務諸表名から選択）</td> <td colspan="2">入力不要</td> </tr> </tbody> </table> <p>なお、6行目以下の「金額等」については、「行区分*」が「金額型：1」の場合は半角文字、「金額型以外：2」は全角及び半角文字で記録願います。</p> <p>※「行区分」については、4頁「項番3、行区分」をご確認願います。</p>	行数	種別又は勘定科目名	内容		1	A	半角	財務諸表種別	2	B	全角	法人名	3	C1	半角	事業年度（自）	4	C2	半角	事業年度（至）	5	（※財務諸表名から選択）	入力不要	
行数	種別又は勘定科目名	内容																								
1	A	半角	財務諸表種別																							
2	B	全角	法人名																							
3	C1	半角	事業年度（自）																							
4	C2	半角	事業年度（至）																							
5	（※財務諸表名から選択）	入力不要																								

項番	項目名	留意事項																				
		<p>【設定規則】</p> <p>(1) 「種別又は勘定科目名」に「A」を記録した場合 作成する財務諸表に応じた次の「内容」を半角文字で記録願います。 なお、「SS」、「SE」、「SR」は、1つの CSV ファイルにいずれか1つのみ記録願います。</p> <table border="1" data-bbox="549 488 1331 748"> <thead> <tr> <th>財務諸表名</th> <th>内容</th> <th>財務諸表名</th> <th>内容</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>貸借対照表</td> <td>BS</td> <td>株主資本等変動計算書</td> <td>SS</td> </tr> <tr> <td>損益計算書</td> <td>PL</td> <td>社員資本等変動計算書</td> <td>SE</td> </tr> <tr> <td>製造原価報告書</td> <td>SC</td> <td>損益金の処分表</td> <td>SR</td> </tr> <tr> <td>個別注記表</td> <td>NT</td> <td></td> <td></td> </tr> </tbody> </table> <p>(2) 「種別又は勘定科目名」に「B」を記録した場合 全角文字で法人名を 50 文字以内で記録願います。</p> <p>(3) 「種別又は勘定科目名」に「C1」又は「C2」を記録した場合 表示形式を「文字列」に設定し、半角文字で YYYY-MM-DD で記録願います。 (例) 「2020 年 4 月 1 日→2020-04-01」</p> <p>(4) 「種別又は勘定科目名」に財務諸表名を記録した場合 入力不要です。</p> <p>(5) 「勘定科目コード(以下「コード」といいます。)」に「タイトル項目※」を記録した場合 入力不要です。 ※ タイトル項目とは、「勘定科目コード表(以下「コード表」といいます。)」内の「タイトル項目(冗長ラベル)」欄に「○」が付されたコードのことをいいます。 (例) 「10A000010：資産の部」、「10A100010：流動資産」及び「10A200010：固定資産」など。</p> <p>(6) 金額等の記録 「種別又は勘定科目名」で記録した勘定科目の金額等を半角 16 文字以内で記録願います。 なお、半角文字の「,(カンマ)」は記録しないでください。 また、表示形式の「数値(桁区切り)」等で「,(カンマ)」を表示している場合は、表示形式を「標準」に設定願います。</p>	財務諸表名	内容	財務諸表名	内容	貸借対照表	BS	株主資本等変動計算書	SS	損益計算書	PL	社員資本等変動計算書	SE	製造原価報告書	SC	損益金の処分表	SR	個別注記表	NT		
財務諸表名	内容	財務諸表名	内容																			
貸借対照表	BS	株主資本等変動計算書	SS																			
損益計算書	PL	社員資本等変動計算書	SE																			
製造原価報告書	SC	損益金の処分表	SR																			
個別注記表	NT																					

項番	項目名	留意事項									
3	行区分	<p>「行区分」は、次の設定規則に沿って、半角1文字で記録願います。</p> <p>【設定規則】</p> <p>(1) 行区分の記録</p> <p>「コード表」内の「コード」が「タイトル項目」の場合は「T」を、貸借対照表等内の勘定科目で金額(数値)を記録する「金額型」の場合は「1」を、個別注記表等内の勘定科目等で注記事項等の文字を記録する「金額型以外」の場合は「2」を、半角文字で記録願います。</p> <p>また、コードに枝番を付した場合についても、同様の設定規則で行区分を記録願います(5頁、項番5「勘定科目コード」(2)①、参照)。</p> <p>なお、「タイトル項目」に枝番を付して記録する際には、「内容又は金額等」に金額(数値)を記録する場合は「1」を、文字を記録する場合は「2」を記録していただいても差し支えありません。</p> <p>(2) 「種別又は勘定科目名」が「A」、「B」、「C1」、「C2」又は財務諸表名の場合</p> <p>入力不要です。</p>									
4	階層番号	<p>「階層番号」は、次の設定規則に沿って、半角4文字以内で記録願います。</p> <p>なお、「階層番号」については、XBRL変換後、帳票化した場合に、勘定科目が表示される列に反映されます。</p> <p>(例)「流動資産」と「現金及び預金」を1列ずらして表示したい場合</p> <table border="1" data-bbox="528 1207 1366 1357"> <tr> <td>勘定科目名</td> <td>階層番号</td> <td>帳票表示イメージ</td> </tr> <tr> <td>流動資産</td> <td>3</td> <td>流動資産</td> </tr> <tr> <td>現金及び預金</td> <td>4</td> <td>現金及び預金</td> </tr> </table> <p>【設定規則】</p> <p>(1) 階層番号の記録</p> <p>使用している勘定科目の階層番号を「2」^(注)以上の整数で記録願います。記録する勘定科目の階層番号は、1つ上の行に記録した勘定科目の階層番号より大きい数字を記録する場合は、2以上大きな数字を記録しないでください。</p> <p>なお、1つ上の行に記録した勘定科目の階層番号より小さい数字を記録する場合は、2以上小さい数字を記録しても差し支えありません。また、1つ上の行に記録した勘定科目の階層番号と同じ数字を記録しても差し支えありません。</p> <p>(注) 階層番号「1」については、5行目の「財務諸表名」の階層番号となりますので、使用しないでください。</p> <p>(2) 「種別又は勘定科目名」が「A」、「B」、「C1」、「C2」又は財務諸表名の場合</p> <p>入力不要です。</p>	勘定科目名	階層番号	帳票表示イメージ	流動資産	3	流動資産	現金及び預金	4	現金及び預金
勘定科目名	階層番号	帳票表示イメージ									
流動資産	3	流動資産									
現金及び預金	4	現金及び預金									

項番	項目名	留意事項
5	勘定科目コード	<p>「コード」は、記録した勘定科目のコードを半角 20 文字以内で記録願います。</p> <p>【設定規則】</p> <p>(1) コードの記録</p> <p>コードは、作成する財務諸表のコード表内に記載されているコード※を記録願います(他の財務諸表のコードは使用しないでください。)。なお、同じコードを重複して記録しないでください(「繰り返し可能勘定科目コード」は除く。)</p> <p>※ コードの区分等につきましては、6 頁(参考 2)をご確認願います。</p> <p>(2) 記録した勘定科目のコードがコード表にない場合</p> <p>法人において独自の勘定科目を使用されている場合などは、次のいずれかの対応によりコードの記録を行ってください。</p> <p>① 記録する勘定科目より上位に記録した勘定科目で、階層番号が小さい勘定科目のコードに枝番(「-(ハイフン)」+「整数」)を付して記録願います。</p> <p>(例)流動資産の区分にコードがない場合 「10A100010→10A100010-1」</p> <p>② コード表内に記載されている勘定科目から、類似した勘定科目を選択し、当該勘定科目のコードを記録願います。</p> <p>なお、業種番号が異なるコードを記録しても差し支えありません。</p>

(参考1) 複数の財務諸表を1つのCSVファイルに作成する場合の作成例

種別又は勘定科目名	内容又は金額等	行区分	階層番号	勘定科目コード
A	BS			
B	サンプル株式会社			
C1	2019-04-01			
C2	2020-03-31			
貸借対照表				
資産の部		T	2	10A000010
流動資産		T	3	10A100010
現金及び預金	1000	1	4	10A100020
受取手形及び売掛金	2000	1	4	10A100030
貸倒引当金	-1000	1	5	10A100040
受取手形及び売掛金(純額)	1000	1	5	10A100050
<貸借対照表の最後のデータ>				
A	PL			
損益計算書				
営業活動による収益		T	2	10D100010
売上高		T	3	10D100020
売上高	1000	1	4	10D100030
営業収益		1	3	10D100040

(参考2) 勘定科目コードの区分等

令和2年4月より e-Tax で財務諸表を CSV 形式データにより送信する場合に使用する「勘定科目コード」は、財務諸表種類ごとに次のように区分し、作成しています。

1 貸借対照表及び損益計算書

企業開示において標準的に使用されている約 6,400 の勘定科目^(注)を、業種番号(2桁)及び区分番号(3桁)に区分し、4桁の整数と組み合わせた計9桁の英数字で作成しています。

(注) 金融商品取引法に基づく有価証券報告書等の開示に関する電子開示システム(EDINET)で使用可能な勘定科目で、2019年版に対応しています。

(例) 勘定科目コード「10A100020」(現金及び預金/一般商工業)の場合

「10」一般商工業(業種番号)、「A10」流動資産(区分番号)、「0020」現金及び預金(整数4桁)

(1) 業種番号(2桁)

番号	業種	番号	業種	番号	業種
10	一般商工業	18	鉄道事業	26	投資業
11	建設業	19	海運事業	27	特定金融業
12	銀行・信託業	20	高速道路事業	28	社会医療法人
13	銀行・信託業(特定取引勘定設置銀行)	21	電気通信事業	29	学校法人
14	建設保証業	22	電気事業	30	商品先物取引業

15	第一種金融商品取引業	23	ガス事業	31	リース事業
16	生命保険業	24	資産流動化業	32	投資信託受益証券
17	損害保険業	25	投資運用業		

(2) 区分番号(3桁)

イ 貸借対照表

番号	区分	番号	区分	番号	区分
A00	資産	B00	負債	C00	純資産
A10	流動資産			C10	株主資本
A20	固定資産	B10	流動負債	C11	資本金
A21	有形固定資産			C12	資本剰余金
A22	無形固定資産	B20	固定負債	C13	利益剰余金
A23	投資その他の資産			C20	評価・換算差額等
A30	繰延資産	B30	特別法上の準備金等	C30	新株予約権

ロ 損益計算書

番号	区分	番号	区分	番号	区分
D00	収益	E00	費用	F00	損益
		E10	売上原価		
D10	売上高	E11	販売費及び一般管理費(売上原価)		
D20	営業外収益	E20	販売費及び一般管理費	F10	その他
		E30	営業外費用		
D30	特別利益	E40	特別損失		

ハ 損益及び剰余金計算書

番号	区分	番号	区分	番号	区分
G00	収益	H00	費用	J00	損益
G20	営業外収益	H30	営業外費用	J10	その他
G30	特別利益	H40	特別損失		

- 2 製造原価報告書、個別注記表、株主資本等変動計算書、社員資本等変動計算書及び損益金の処分表
 現在 e-Tax で使用可能な「e-Tax 標準科目 (XBRL2.1)」を、次の財務諸表種類番号(2桁)に
 4桁の整数を組み合わせた計6桁の英数字で作成しています。

(例) 勘定科目コード「SS0201」(資本金当期首残高)の場合

「SS」株主資本等変動計算書(財務諸表種類)、「0201」資本金当期首残高(整数4桁)

財務諸表種類番号(2桁)

番号	財務諸表種類	番号	財務諸表種類	番号	財務諸表種類
SC	製造原価報告書	SS	株主資本等変動計算書	SR	損益金の処分表
NT	個別注記表	SE	社員資本等変動計算書		